



一般社団法人 乳がん予防医学推進協会



2024年度 活動報告書

Breast Cancer Preventive Medicine Promotion Association
Activity Report in FY2024

2024年度事業概要



ミッション

乳がんを早期発見し、悲しい
思いをする人を減らす



ビジョン

- ・ブレスト・アウェアネス教育をひろめる
- ・検診の必要性の理解を高める。
- ・地域＆行政、医療機関連携し、乳がん検診を身近にする。
- ・乳がん検診受診率向上を目指す。

検診補助事業

乳がん検診会イベントを請け負い、マンモグラフィバスの手配、医療人員手配等を行っています。

ブレストケア コンシェルジュ

年に一回実施される、主に一般の方を対象にした、ブレスト・アウェアネスを広めるための認定資格試験です。

絵画コンクール

親子が楽しみながら、この乳がんという社会問題に触れ合う環境として、毎年行っています。対象は4歳から高校生の子どもで、乳がんをテーマとした絵画を送っていただき、最優秀賞作品は神奈川県庁の啓発ポスターとして採用されます。

ラジオ

マリンFM86.1MHz「ごきげんラジオ」内のコーナー番組として「レディーゴー」を毎週火曜10:36～10:50に放送中です。協会の乳がん体験者がパーソナリティを務めて、医療や健康にまつわる話を提供しています。

MOTHER'S基金

当基金は乳がん患者さんへの直接的な経済支援を行っています。患者さんにとって辛いことは様々だし、家庭環境も異なります。そこを補助するため、用途は自由とし、「いま、必要なこと」に使用していただく、助成事業です。

ネイルから広げる アピアランス サポート

医療機関さまを介して、乳がん患者さまへ渡される間接的な支援となります。協働している株式会社IMLの「cirila」ブランドより、年間売り上げの数%から、化学療法を行っている病院さまにネイルをご寄付されます。

乳がん経験者の 声から考えた 食事支援

抗がん剤や放射線治療中は通常よりエネルギー量も必要です。しかし、バランスよく食べることは準備する手間も多く、患者さまには負担に感じることも。オイシックス・ラ大地株式会社と協働し、「ヘルスケアKit Oisix おためしセット」の無料提供を実施しています。

セミナー・読影・ 技師教育などの サポート事業

医療機関からのマンモグラフィ読影を請け負い、医療機関等の負担を軽減するために、各種お手伝いをしています。また、企業等の職員等に向けて、乳がんのセミナーや講義を行ったり、放射線技師の育成にも力を入れています。



News Letter

2024年度

神奈川県との協働事業が終了

神奈川県の「かながわボランティア活動推進基金21」を利用した協働検診事業が3年目を迎え、無事に終了しました。開催は以下の通り、

- ① 5月25日（土）ららぽーと平塚市検診会（3期目）⇒69名実施
- ② 5月26日（日）：横須賀検診会（3期目）⇒38名実施
- ③ 9月26日（日）：イオン大和検診会（1期目）⇒38名実施
- ④ 10月20日（日）：鶴見はまかせクリニック日曜検診会（3期目）⇒23名実施
- ⑤ 10月26日（土）：大和シルフィード検診会（2期目）⇒12名実施
- ⑥ 11月17日（日）：AYA女性のためのクリニック日曜検診会（2期目）⇒32名実施
- ⑦ 翌2月9日（日）：LUNA元町クリニック日曜検診会（2期目）⇒23名実施
- ⑧ 翌3月16日（日）：イオンモール座間検診会（3期目）⇒57名実施
- ⑨ 翌3月23日（日）：座間子育て保育付き検診会（1期目）⇒15名実施

要精査者は全開催分で17名となりました。

3年の満期を迎えたので、一旦協働事業としては終了しますが、今後もイベント検診会などを実施していく予定です。



ブレストケアコンシェルジュ第三期終了

「ブレストケアコンシェルジュ」の第三期生として、新たに8名が認定され、これにより全国で37名の認定者が誕生しました。認定者たちは、検診会におけるブレストアウェアネス啓発活動に積極的に参加し、日本乳癌検診学会の学術大会では資格概要の報告およびブレストケアコンシェルジュによる啓発活動の有効性について発表いたしました。令和7年度より、従来の実技講習は廃止し、座学講習のみを受講対象となります。また、受講料の改定を2025年度から実施し、オプション講習として実施されていた「指導者講習」の名称を「啓発実践講習」に変更いたします。



概要や申込はこちらから

ラジオ「レディゴー」も毎週火曜絶賛放送中！



2022年3月から始まった、マリンFM86.1MHz「ごきげんラジオ」内の「レディゴー」も早くも3年目に突入しました。2024年度にはマリンFMのパーソナリティ、助産師、乳腺外科専門医、フルート奏者、家庭科教員、乳がん体験者など多岐にわたるゲストの方々にご出演いただきました。4年目の2025年度は、下記イベントにもぜひ足をお運びいただけますと幸いです。

＊イベント＊

●7月20日：こどもラジオパーソナリティ体験（参加者募集中！詳細はHPにて）

●9月・11月：関内マリナードでイベント

●10月：ハワイアンフェスタにてブース出展

＊詳しくはHPにてお知らせします。

ネイルからひろげるアピアランスケア支援の拡がり

がん治療中の爪の変化は乳がん女性の苦痛度TOP 20に入るほど、外見の変化を伴いその苦痛度は高いといわれています。2023年度から始まった本事業では、株式会社IMLさまと協働しネイルケアブランド「cirila」のネイルポリッシュを、化学療法を実施している医療機関へ寄付しております。今年度は、2期目として寄付先医療機関も全国へと拡がり、さらなる患者支援につながりました。

また、乳がん検診会におけるネイル×ブレスト・アウェアネス講習でも活用されました。

※1: Nozawa et al Psychooncol.2013

【2024年度寄付先】

- 昭和大学横浜北部病院さま（神奈川）
- 浦添総合病院さま（沖縄）
- 山梨県峡南医療センター富士川病院さま（山梨）
- 東京慈恵会医科大学附属病院さま（東京）
- Aya女性のためのサンデー乳がん検診会
- LUNAサンデー乳がん検診会

計247本のネイルポリッシュを寄付いたしました。



アピアランスケア × 乳がん検診イベント開催のお知らせ

2025年2月9日(日)に「女性医療クリニックLUNA横浜元町」にてサンデー検診会を開催いたします。子宮がん検診も同日受診できますので、早日に検診に行くのが難しい方にお勧めです。シリラ シアポリッシュをお持ち帰りいただける講座イベントにもぜひご参加ください。

後援 2024.10.27

啓発イベントの一環で行っている乳がん検診会の時にも、ネイルを寄付しています。寄付を希望する医療機関は右QRまで⇒



全22種類のネイルを寄付しています

*株式会社IML様HPより転載

がん患者さんへの食事支援事業を8月より開始

「治療中に食べられない、作れないときにミールキットという選択」というコンセプトのもと、オイシックス・ラ・大地株式会社さまと協働し2024年度8月から「ヘルスケアKit Oisix お試しセットA/B」をがん治療中の患者さんに無料支援する活動を開始しました。2024年度は全国で6名に支援し、2025年度も引き続き支援継続してまいります。

治療中に
作れない
食べられない時に
ミールキット
という選択



マンモグラフィポジショニング講習会を共催



群馬県のマンモトレーニングスクールと協働し、全国の診療放射線技師を対象として少人数制（最大5名）の講習会を2回開催しました。今年度は7名が受講し大変好評でした。25年度も9月、3月に開催予定です。



マンモグラフィトレーニングスクールのHPはこちら



第五回乳がん検診へ行こう絵画コンクールの開催終了



2024年度は、横浜市栄区に位置する神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぶらざ）を会場とし、盛大に実施されました。広々とした展示ホールには受賞者の素晴らしい絵画が飾られ、多くの方々にご来場いただきました。その中で、作品が放つ感動や魅力に心を動かされる方も多く、充実したひとときをお楽しみいただけました。次回も皆さまのご参加をお待ちしております。

【2024年度開催結果】

- ・応募総数：209作品
- ・受賞数：66賞
- ・共催
 ↳神奈川県、横浜医師会
- ・後援
 ↳鎌倉市、横浜市医療局、横浜市教育委員会、
 横須賀市教育委員会、平塚市教育委員会、
 座間市教育委員会、認定NPO法人乳房健康研究会



神奈川県知事賞： 牧 葉納さん（14）

愛嬌がある女性の絵画を描いてくださいました。見てみると、乳がん検診に行こうという気分になりますね！



会場では乳がん体験者の実話をイラスト動画にした映像を公開しました。



参加してね！

【2025年度開催詳細】

- ・場所：横浜市役所アトリウム
- ・展示日：12/20（土）～21（日）
- ・授賞式：12/21（日）
- ・作品募集期間：7/1（火）～9/30（火）

第三十二回日本乳癌学会学術総会と第三十三回日本乳癌検診学会学術総会にて発表



ポスターセッションで
発表する森医師

2024年7月に開催された第三十二回日本乳癌学会学術総会にて、自由が丘みきブレストクリニックの院長であり、当協会の理事に2025年度より就任された森美樹医師が「乳癌術後に社会的に子を持つという選択肢を考える。特別養子縁組、里親制度への取り組み」をポスター発表しました。（共同演者：当協会代表理事 丸山裕美）

2024年11月に開催された第三十三回日本乳癌検診学会学術総会においては、当協会代表理事 野澤亜樹が「当協会認定資格制度ブレストケアコンシェルジュ®によるブレスト・アウェアネス教育の実施効果について」（共同演者：当法人共同研究員 二宮省吾、西浦素子、当協会メンバー杉本明日美、丸山裕美）、と当協会理事 杉本明日美が「ブレストケアコンシェルジュの資格について」共同演者（マンモグラフィトレーニングスクール 新井敏子、長島純子、当協会メンバー中村美希、野澤亜樹、丸山裕美）の2演題について発表いたしました。



日本乳癌検診学会での2演題



秋田でのイベント×MOTHER'S基金の拡がり

秋田県の「がん死亡率」（人口10万人当たり 令和3年）は、25年間連続全国ワーストとなっており、ブラウブリッツ秋田株式会社さま、ソーシャルパートナーであるセルスペクト株式会社さま、東北バイオエンジニアリング株式会社さまは、「がん検診」が、がんの早期発見・治療につながる大切な習慣となり、日頃からご自身や、ご家族の健康への意識を高めることにより、気になったらすぐに医師に相談するという正しい受診行動を地域の皆様に広く啓発してまいります。3社合同で行われた「TakeActionピンクリボン運動」では、2024明治安田J2リーグのブラウブリッツ秋田 ホームゲームの来場者数に10円を乗じた金額と、試合会場のブースにて行った募金を、当協会の「MOTHER'S基金」へ寄付していただきました。



ご寄付をいただきました

- ブラウブリッツ秋田株式会社さま
- セルスペクト株式会社さま
- 東北バイオエンジニアリング株式会社さま

また、5月にはセルスペクト・東北バイオエンジニアリングpresents乳がん検診会を開催。「サッカー観戦ついでに乳がん検診」がよいきっかけとなり、「初めて乳がん検診を受診します」という方が受診者の半数以上を占めました。

●日時：5月26日（土）10:30～13:30

●対象者：自覚症状なく、1年以内に乳がん検診を受診していない30歳以上の女性

●応募数：30名

●実施内容

・マンモグラフィバス検診 ・医師の問診 ・ブレストアウェアネス講習・乳がん啓発コンテンツの配布



マンモグラフィ読影補助の本格的始動

マンモグラフィの読影を専門医師に

乳がん検診の普及を目指して

2022年からの実施読影件数
1,047件
※2024年10月20日現在

乳がんは年々増え続けており、その患者数は今や9人に1人とされています。これに対して、乳腺外科医の数は増えておらず横ばい状態。またマンモグラフィの読影環境は、適切な環境下において二重読影（うち1名は十分な経験を有する医師であること）により行う必要がありますが、適切な読影環境や2名以上の読影認定医師の確保が難しいといったハードルも存在します。

そこで、弊協会では「検診受診環境整備」の一環として数多くの読影認定医師と連携し、医療機関や検診施設が乳がん検診を導入しやすいように読影のお手伝いをしております。

POINT1 読影認定医師による読影

読影認定医師は、日本乳がん検診推進協議会や検診施設の定める読影マンモグラフィ認定読影医師が読影いたします。

POINT2 初期費用・月経費用なし

乳がん検診がもたらす不安を軽減するための読影環境を整えています。かかる料金は「読影費」「搬送代」のみです。

POINT3 返却は1～2週間

検診結果を待ち望んでいる受診者の事を思い、早いリターンを心がけています。

※本協会の読影認定医師は、検診施設や検診施設が定める読影マンモグラフィ認定読影医師が読影いたします。ご了承ください。

読影料金 一次読影1,000円/名
二次読影2,000円/名

搬送料 一次読影1,000円/回
二次読影2,000円/回

利用方法 電話か右下のQRフォームからご連絡ください。担当者にご連絡します。

一般社団法人
乳がん予防医学推進協会

☎ 045-900-1296
13:00～17:00（年末年始を除く）

がんは年々増え続けており、その患者数は今や9人に1人とされています。それに対して乳腺外科医の数は増えておらず横ばい状態。またマンモグラフィの読影環境は、適切な環境下において二重読影（うち1名は十分な経験を有する医師であること）により行う必要がありますが、適切な読影環境や2名以上の読影認定医師の確保が難しいといった、医療機関が抱える悩みも多く存在します。

そこで、弊協会では「検診受診環境整備」の一環として、同じ志しをもった読影認定医師と連携し、医療機関や検診施設が乳がん検診をより導入しやすいよう、マンモグラフィ読影のお手伝いをしております。2024年度には、ついに読影総件数が1000件を超えました。気軽にご利用いただけたらと思います。

これからも弊協会のマンモグラフィ読影は、経験豊富な読影認定をもった乳腺科医による正確な診断を提供して参ります。よろしくお願いいたします。

セミナーや読影等のご依頼はこちらから→



収入

1.受取会費	528,000
2.受取寄付金	1,296,880
3.受取助成金等	1,715,000
4.事業収益	3,126,922
5.募金収益	8,100
6.自己負担金	180,104
7.物品等受入評価益	150,000
8.利息	540
9.前年度繰越金 (該当事業分)	670

収入計 7,006,216

差引	912,786
前年度繰越正味財産	1,190,220
期末残高	2,103,006

支出

1. 人件費	1,718,745
2. 外注費	1,311,842
3. システム費	84,217
4. 地代家賃	152,960
5. 社会保険料	301,195
6. 賃貸料	810,347
7. 接待費	16,410
8. 交通費	280,225
9. 仕入れ	-
10. 物品等評価費用	150,000
11. 委託費	195,350
12. 通信費	110,977
13. 消耗品費	96,220
14. 広報費	103,500
15. 書籍代	11,600
16. 会議費	16,121
17. 手数料	32,385
18. 車両費	50,000
19. 運送費	27,952
20. 研修費	44,300
21. 印刷製本費	121,479
22. 福利厚生費	20,300
23. 雑費	-
24. 租税公課	166,730
25. 年会費	74,825
26. 謝礼金	72,690
27. 支払寄付金	110,220
28. 支払保険料	12,840

支出計 6,093,430

上記を2024年度の会計報告として相違ないことを報告致します。

2025年 5 月 1 日 代表理事・会計担当



監査の結果、正しい報告書であることを認めます。

2025年 5 月 1 日 監事



顧問税理士 宮野康緒

住所：〒162-0822

東京都新宿区 下宮比町 2-2 8 飯田橋ハイタウン 7 2 8



Phone call
045-900-1296



Website
<https://nyisk.com>



Email Address
nyuganyobou@nyisk.jp



Office Address
〒231-0062
神奈川県横浜市中区桜木町1-101-1クロスゲート7F